

※全ての内装、設備は、今回工事対象外。
※内部の木工事については、以下を除き、今回工事対象外。
・木構造関係箇所（構造図記載箇所すべて）
・木製床組
・木製建具枠（木製建具は今回工事対象外）
・鴨居
・敷居
・戸袋

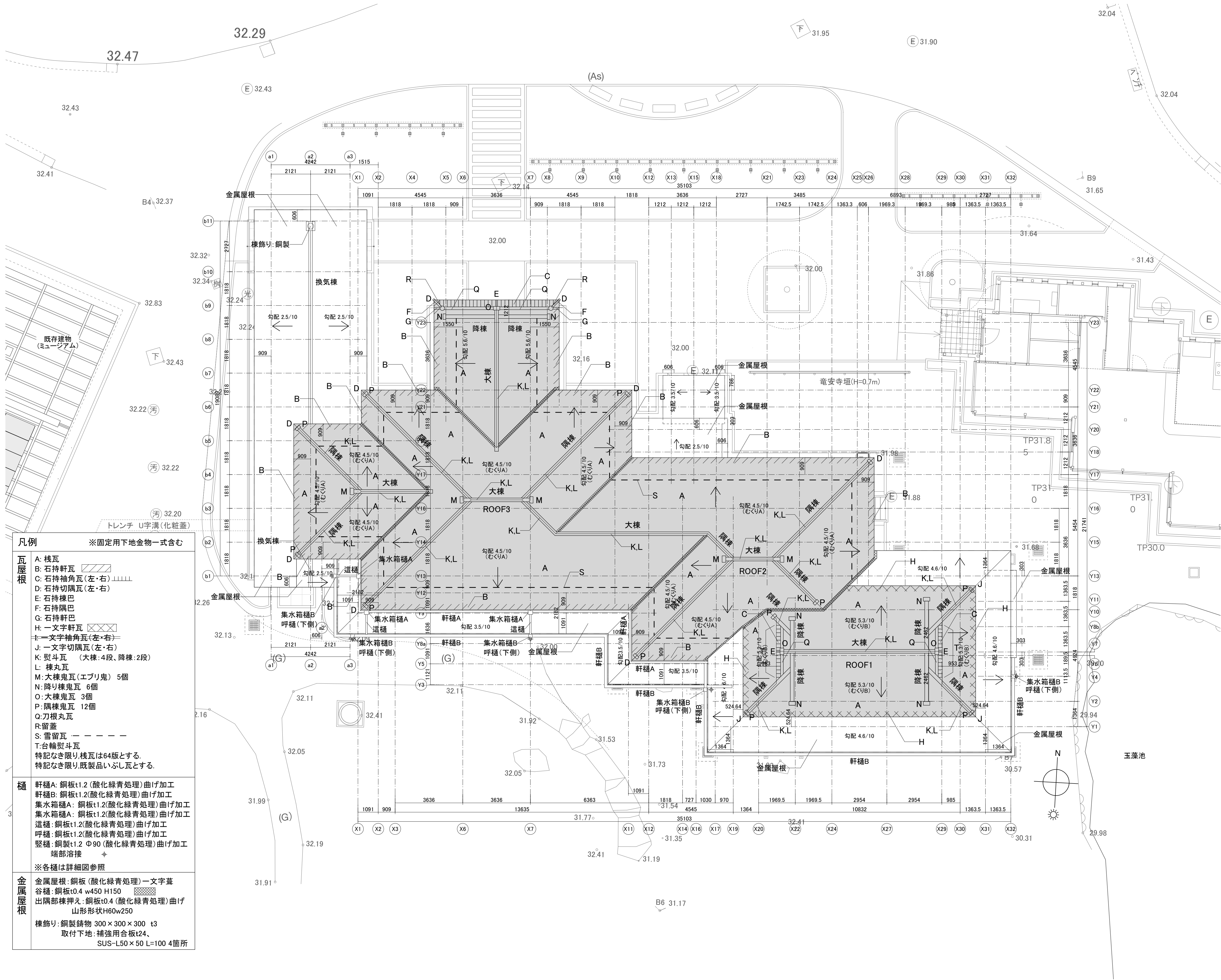
※断熱材については、屋根、外壁、床の木軸組に充填設置されるものについては、今回工事に含む。
※金物については、今回工事に含む。
※内部のユニット（手摺、防護策、サイン）については、今回工事対象外。
※内部塗装については、今回工事対象外。

※外部（屋根、外壁、床、ピット内）については、漆喰仕上げを除き、全て今回工事に含む。

香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
専任主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)



凡例	
※固定用下地金物一式含む	
瓦	A: 棧瓦 B: 石持軒瓦 C: 石持袖角瓦(左・右) D: 石持切隅瓦(左・右) E: 石持棟巴 F: 石持隅巴 G: 石持軒巴 H: 一字軒瓦 I: 一字袖角瓦(左・右) J: 一字切隅瓦(左・右) K: 熨斗瓦 (大棟:4段、降棟:2段) L: 棟丸瓦 M: 大棟鬼瓦(エブリ鬼) 5個 N: 降り棟鬼瓦 6個 O: 大棟鬼瓦 3個 P: 隅棟鬼瓦 12個 Q: 刀根丸瓦 R: 留蓋 S: 雪留瓦 T: 台輪型斗瓦 特記なき限り、棧瓦は64版とする。 特記なき限り、既製品いぶし瓦とする。
樋	軒樋A: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 軒樋B: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 集水箱樋A: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 集水箱樋B: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 這樋: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 呼樋: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 堅樋: 銅製t1.2 Φ90 (酸化緑青処理)曲げ加工 端部溶接 ※各樋は詳細図参照
金属屋根	金属屋根: 銅板(酸化緑青処理)一文字葺 谷樋: 銅板t0.4 w450 H150 出隅部棟押え: 銅板t0.4 (酸化緑青処理)曲げ 山形状H60w250 棟飾り: 銅製鋳物 300×300×300 t3 取付下地: 補強用合板t24、 SUS-L50×50 L=100 4箇所

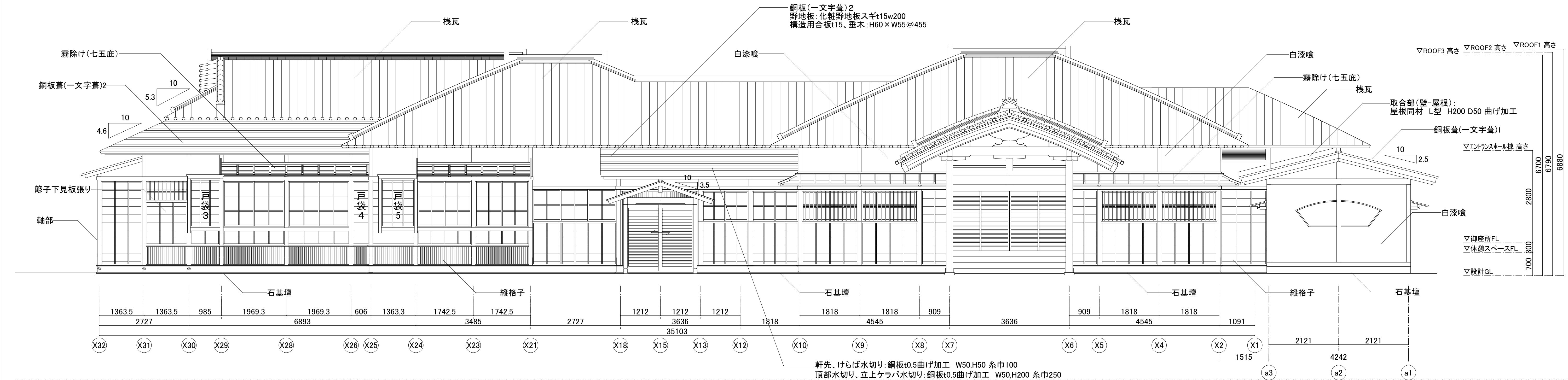
※屋根及び樋は、すべて本工事に含む

香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

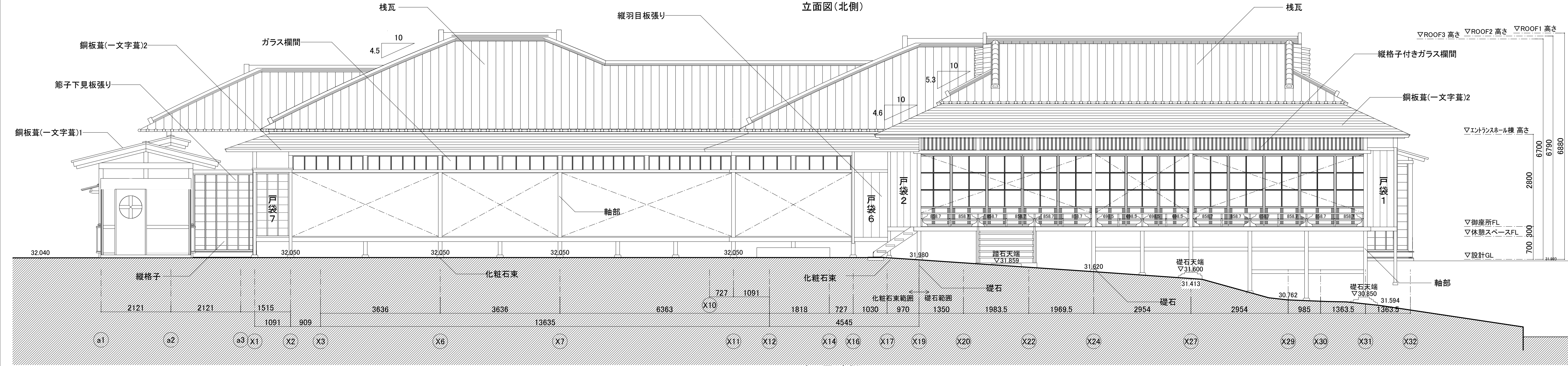
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(Ⅰ)
屋根伏図
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200
環境省新宿御苑管理事務所

A-18
18
164

※外装関係工事については、以下を除きすべてが今回工事対象。
・漆喰仕上げ
・木製建具



立面図(北側)

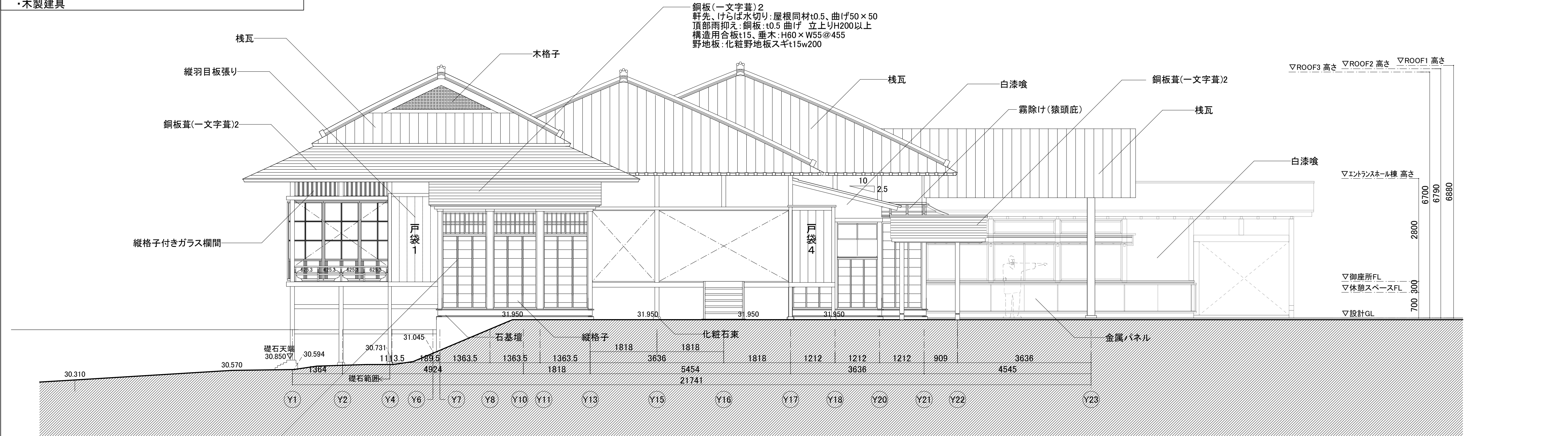


立面図(南側)

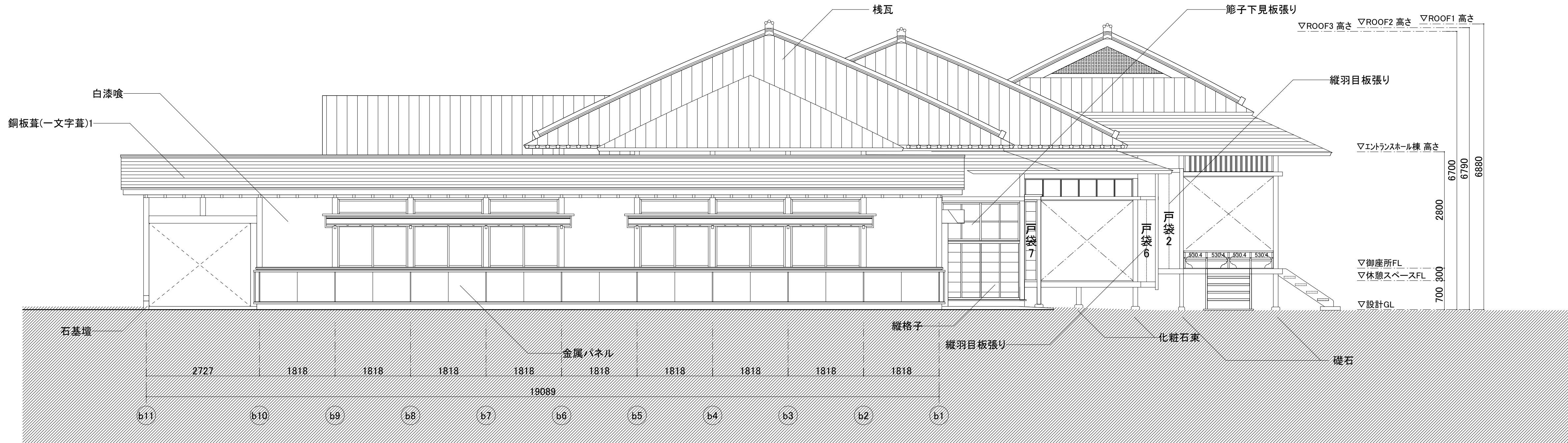
外部仕上げ表		
部 位	略 称	仕上及び下地構成(特記なき限り以下とする)
屋根	棧瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム 1種、固定金物)
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450,H150
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相釣り)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度
小庇	霧除け(七五庇)	底板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30
外壁中央	簾子下見板張り	上下枠:スギH40×D40、側枠:スギW30×D40、簾子押縁:スギW30×D15～33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(k24)t90、間柱45×90@454.5
外壁中央	縦羽目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+グラスウール(K24)t45
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5 ※白漆喰仕上げについては、今回工事対象外(ただし、下地材までは本工事対象に含む)
外壁下部	縦格子	上下棧:ヒノキt40H25※下棧に水抜穴、縦枠:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網: SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)
基壇	石基壇	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度

共通事項: 1) 全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。 2) 特記なき限り、造作用の化粧木材は、上小節以上とする。 4) 見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。 5) 見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。		※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は桎目とする。 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。	香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367670号)	令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(Ⅰ) 立面図(Ⅰ) 北側、南側 A1: S=1/60 A3: S=1/120 環境省新宿御苑管理事務所	A-19 19 164
---	--	--	---	--	-------------------

※外装関係工事については、以下を除きすべてが今回工事対象。
・漆喰仕上げ
・木製建具

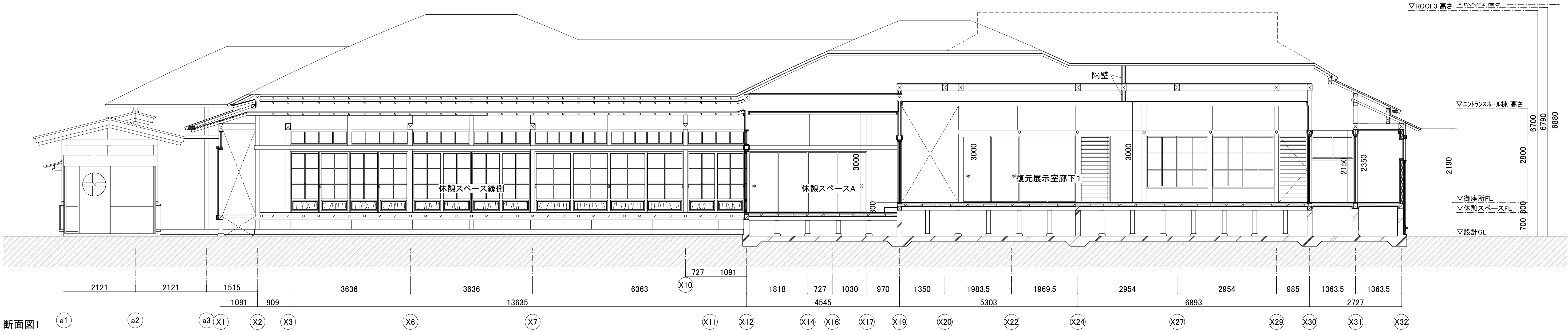


立面図(東側)

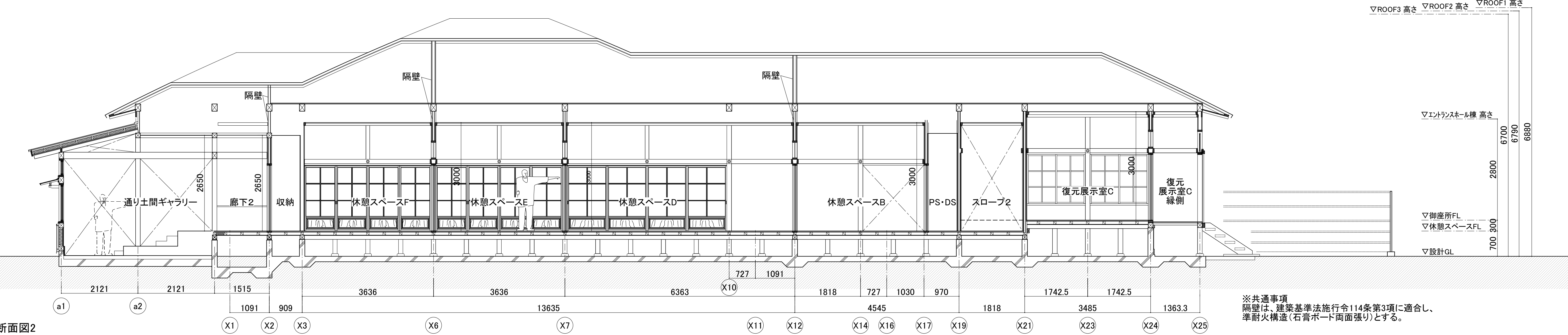


立面図(西側)

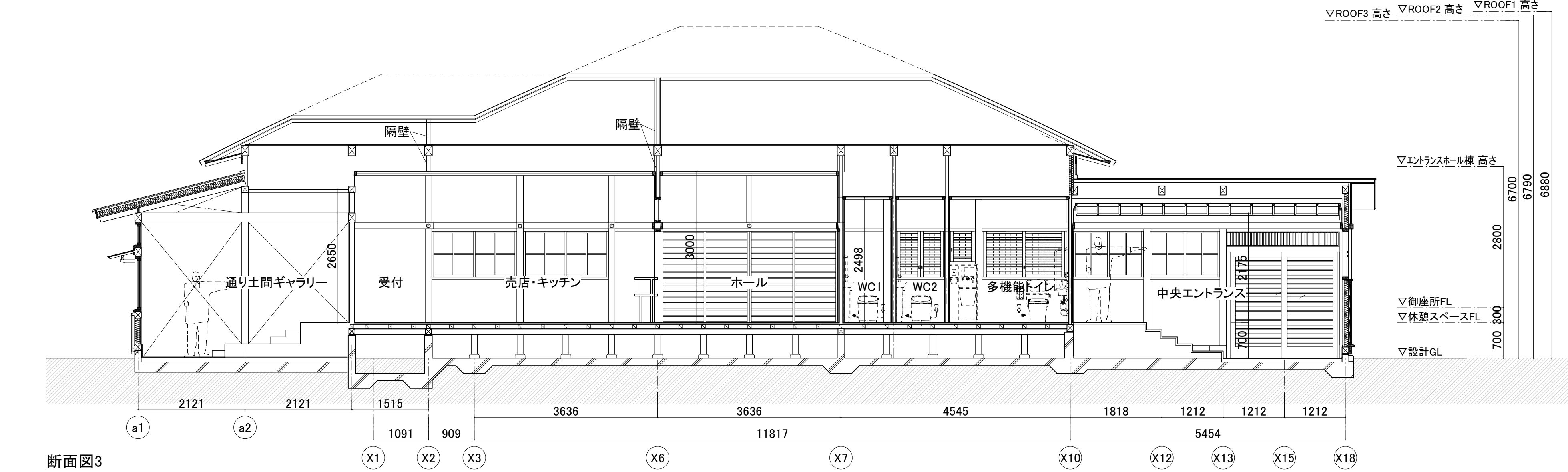
仕上及び下地構成(特記なき限り以下とする)		
部 位	略 称	
屋根	棧瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム 1種、固定金物)
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450,H150
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相釣り)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度
小庇	霧除け(七五庇)	底板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30
外壁中央	簷子下見板張り	上下桟:スギH40×D40、側桟:スギW30×D40、簷子押縁:スギW30×D15～33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(k24)t90、間柱45×90@454.5
外壁中央	縦羽目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+グラスウール(K24)t45
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)、ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5
外壁下部	縦格子	上下棧:ヒノキt40H25※下棧に水抜穴、縦桟:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網:SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)
基壇	石基壇	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度
共通事項: 1)全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。 2)特記なき限り、造作用の化粧木材は、上小節以上とする。 4)見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。 5)見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。		
※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は桎目とする。 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。		
香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)		令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(1) 立面図(2) 東側、西側 A1:S=1/60 A3:S=1/120 環境省新宿御苑管理事務所
		A-20 20 164



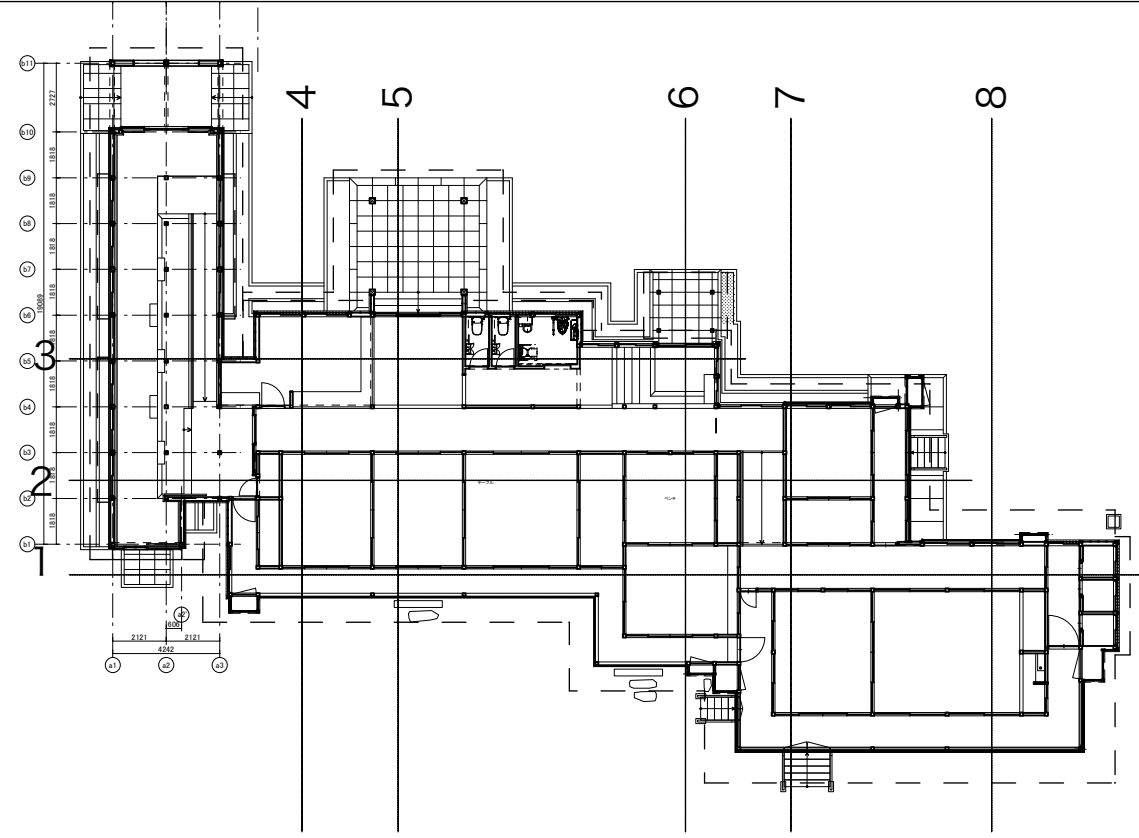
断面図1



断面図2



断面図3



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。
※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。
※特記なき限り、見掛け面以外は、並材以上とする。
※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

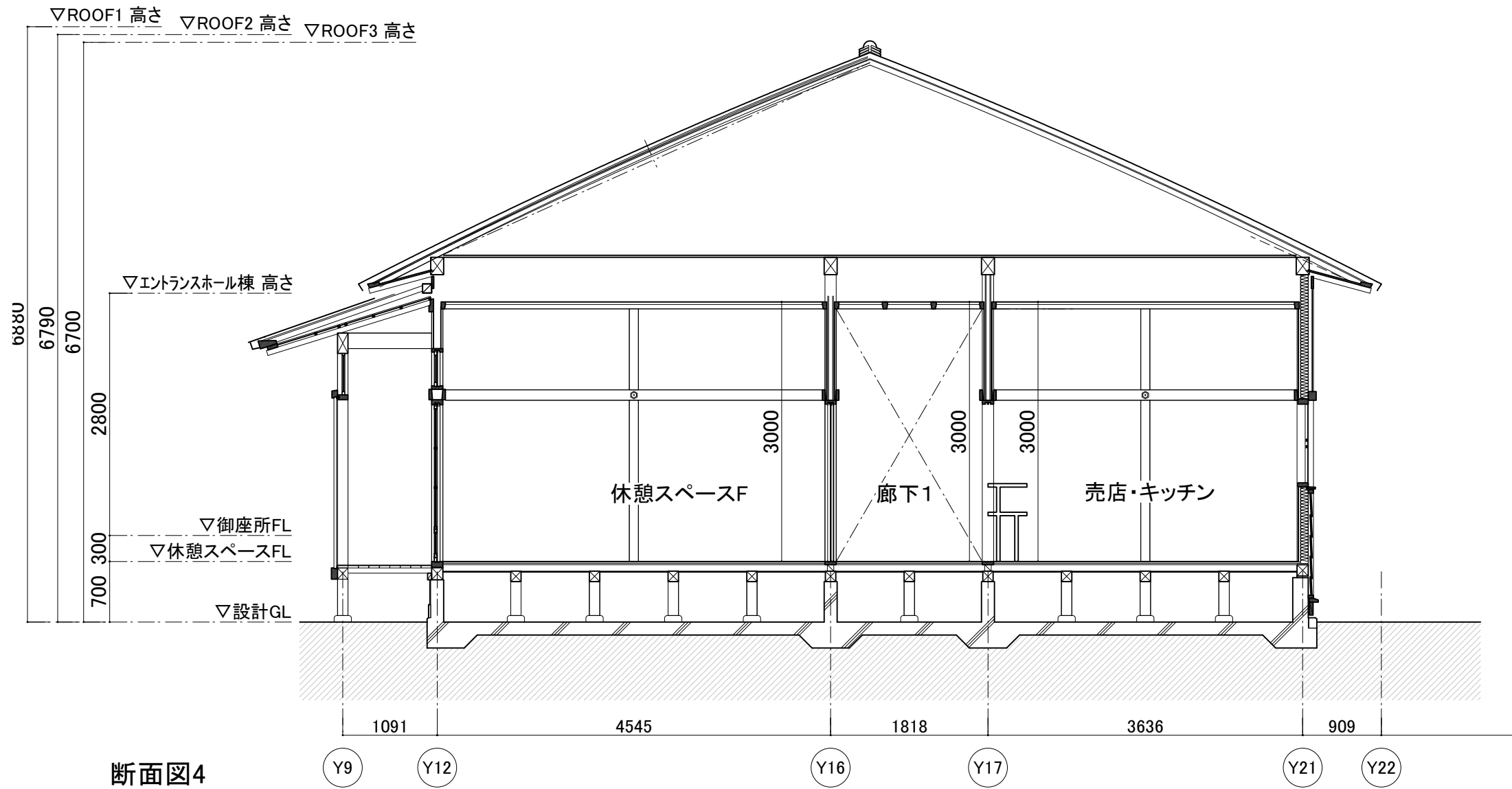
※全ての内装、設備は、今回工事対象外。
※内部の木工事については、以下を除き、今回工事対象外。
・木構造関係箇所(構造図記載箇所すべて)
・木製床組
・木製建具枠 (木製建具は今回工事対象外)
・鴨居
・敷居
・戸袋

※断熱材については、屋根、外壁、床の木軸組に充填設置されるものについては、今回工事に含む。
※金物については、今回工事に含む。
※内部のユニット(手摺、防護策、サイン)については、今回工事対象外。
※内部塗装については、今回工事対象外。
※外部(屋根、外壁、床、ピット内)については、漆喰仕上げを除き、全て今回工事に含む。

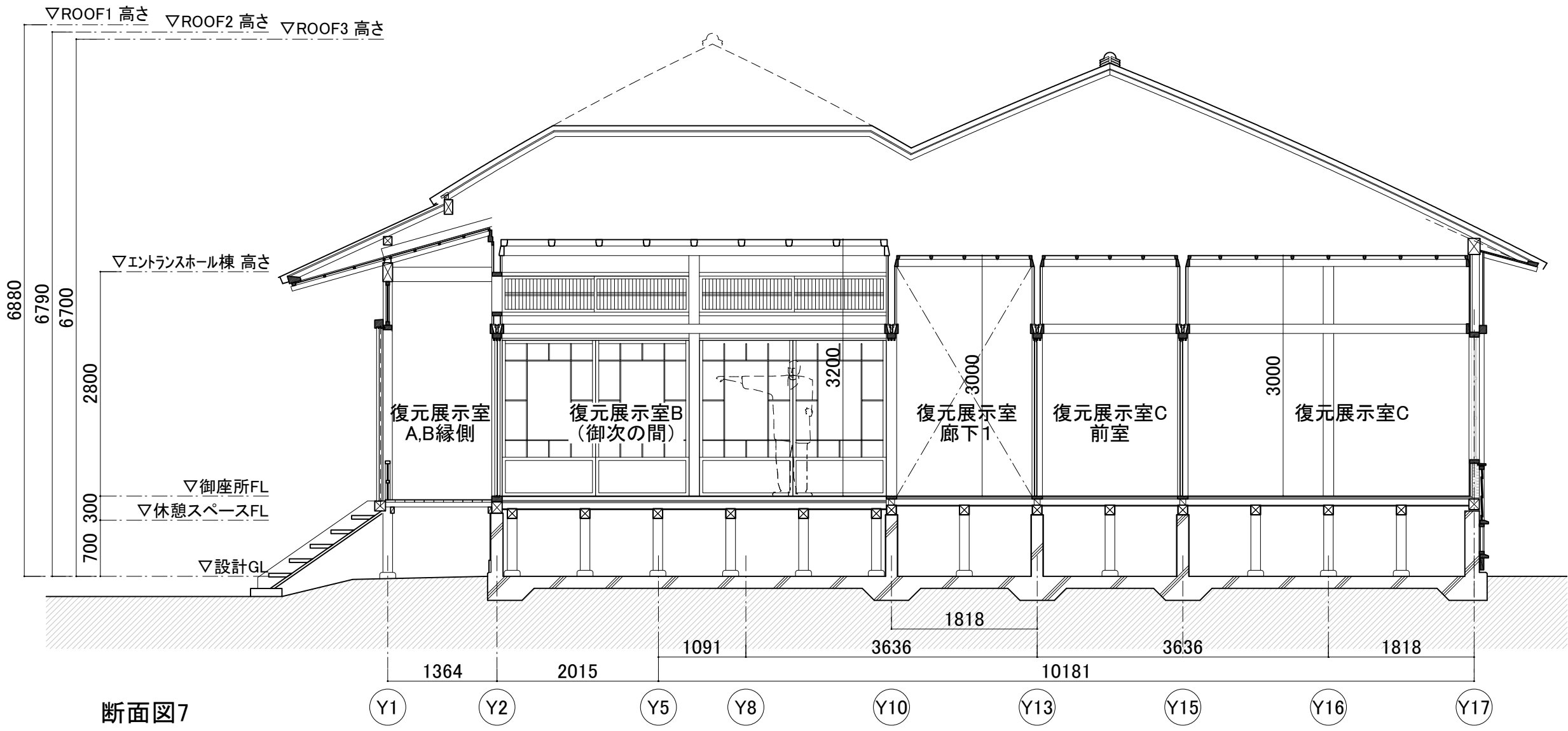
香山建築研究所
KOYAMA ATELIER
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事 (1)
断面図(1) 断面1~3
環境省新宿御苑管理事務所

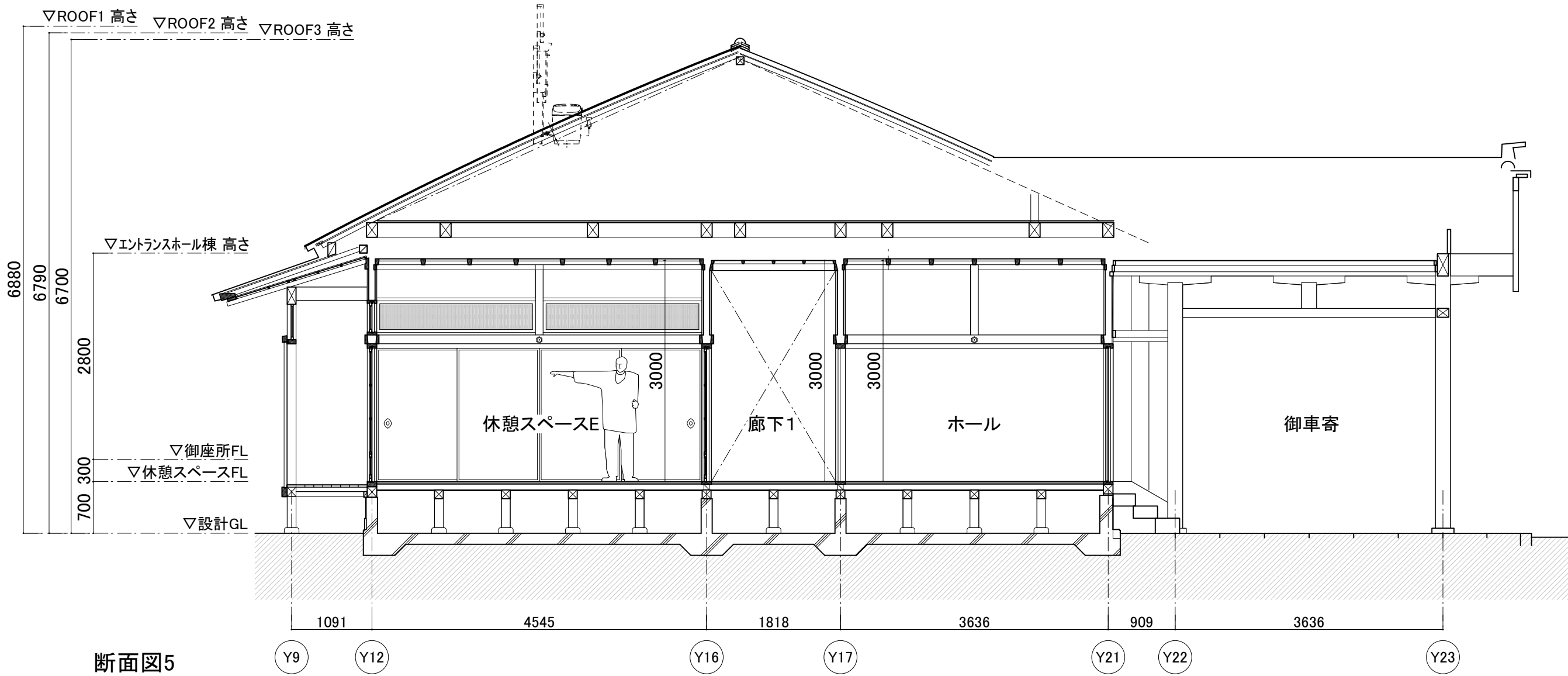
A-21
21
164



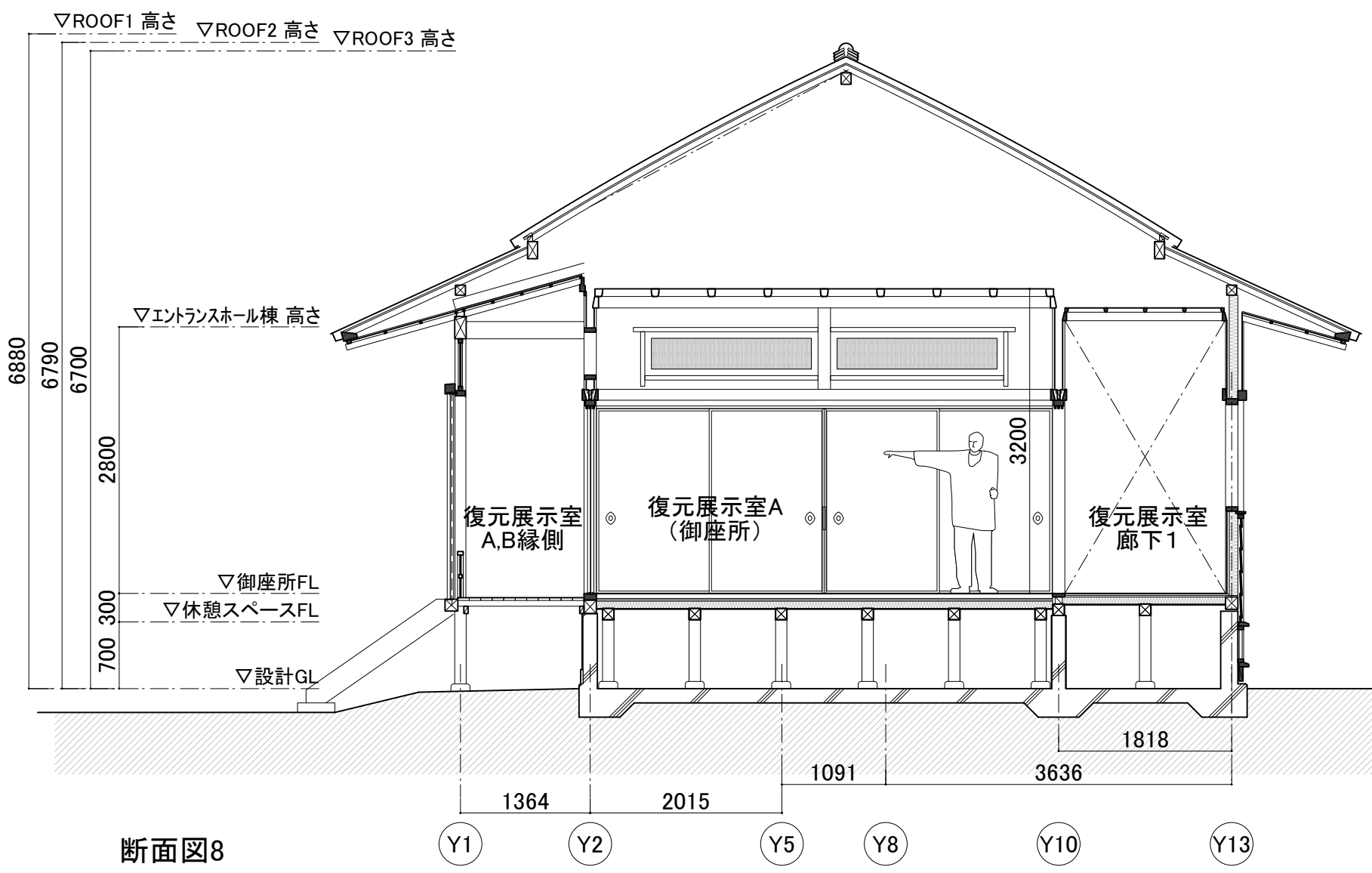
断面図4



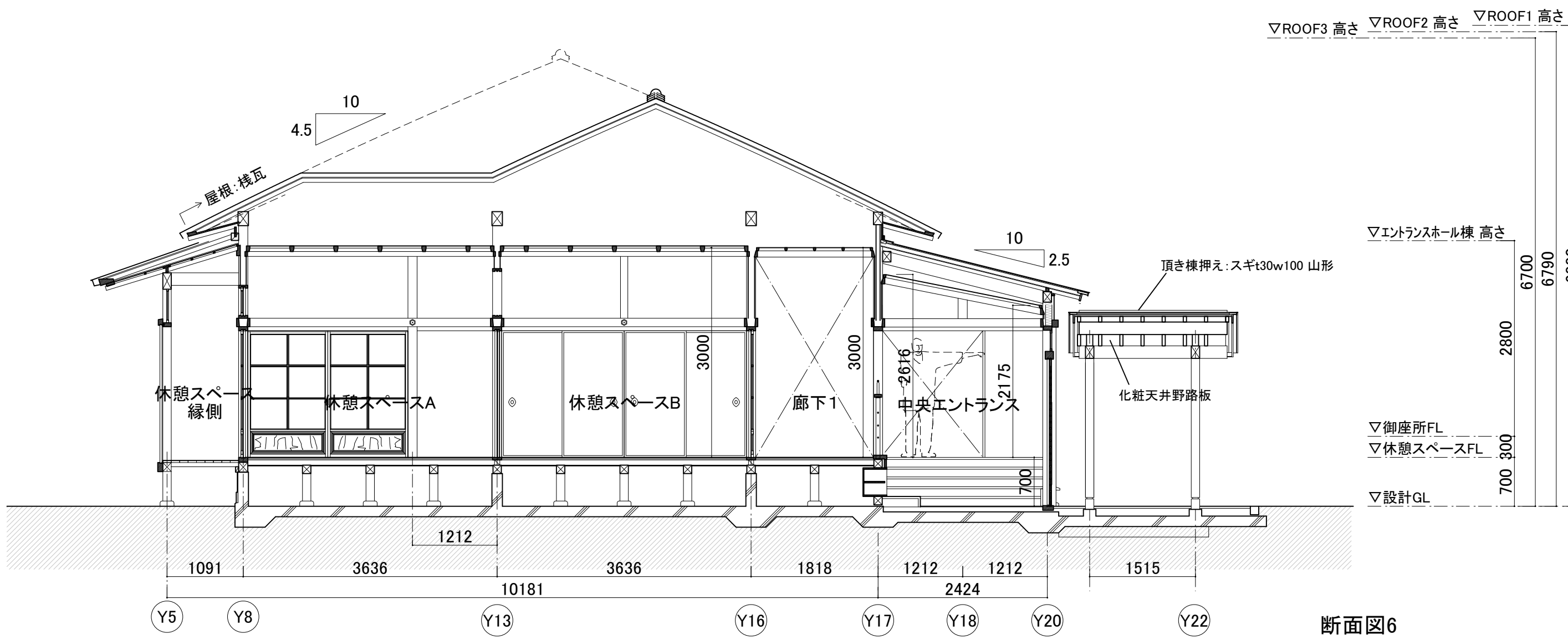
断面図7



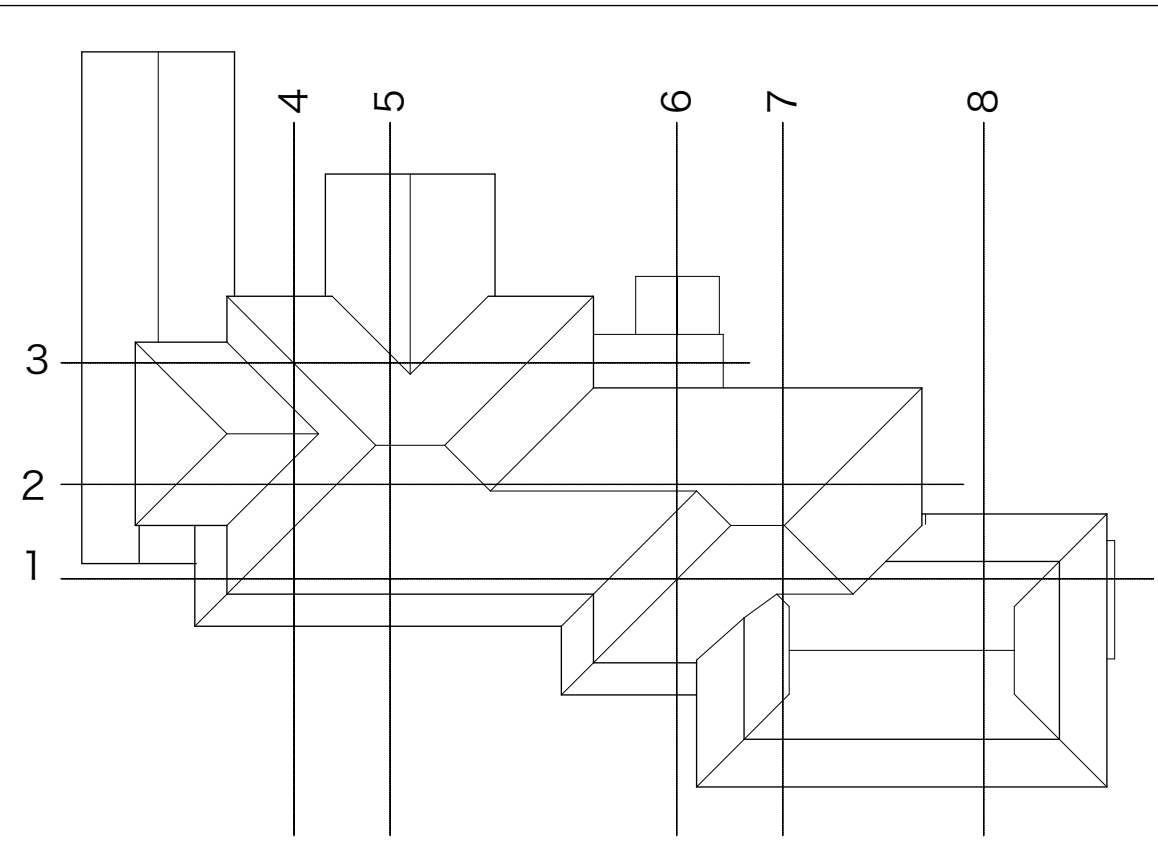
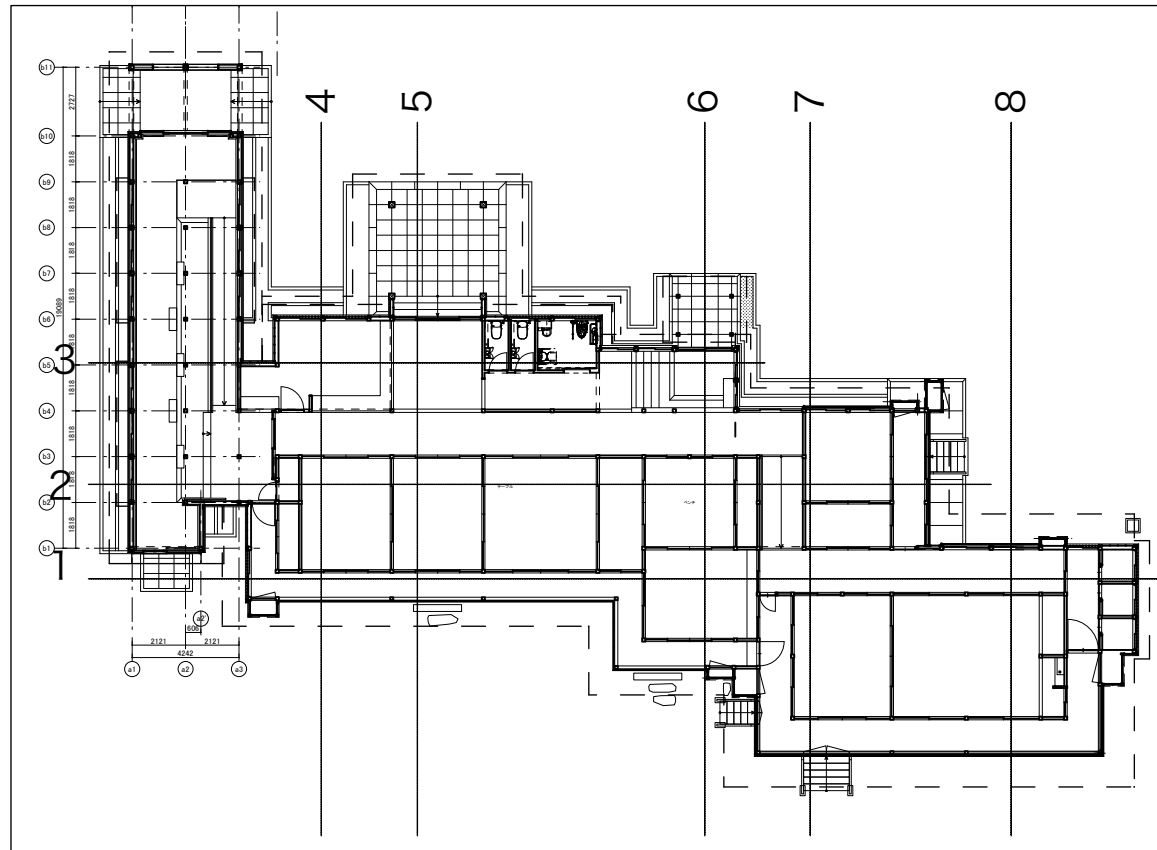
断面図5



断面図8



断面図6



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛け面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。
※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛け面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。
※特記なき限り、見掛け面以外は、並材以上とする。
※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。


※全ての内装、設備は、今回工事対象外。
※内部の木工事については、以下を除き、今回工事対象外。
・木構造関係箇所(構造図記載箇所すべて)
・木製床組
・木製建具枠 (木製建具は今回工事対象外)
・鴨居
・敷居
・戸袋

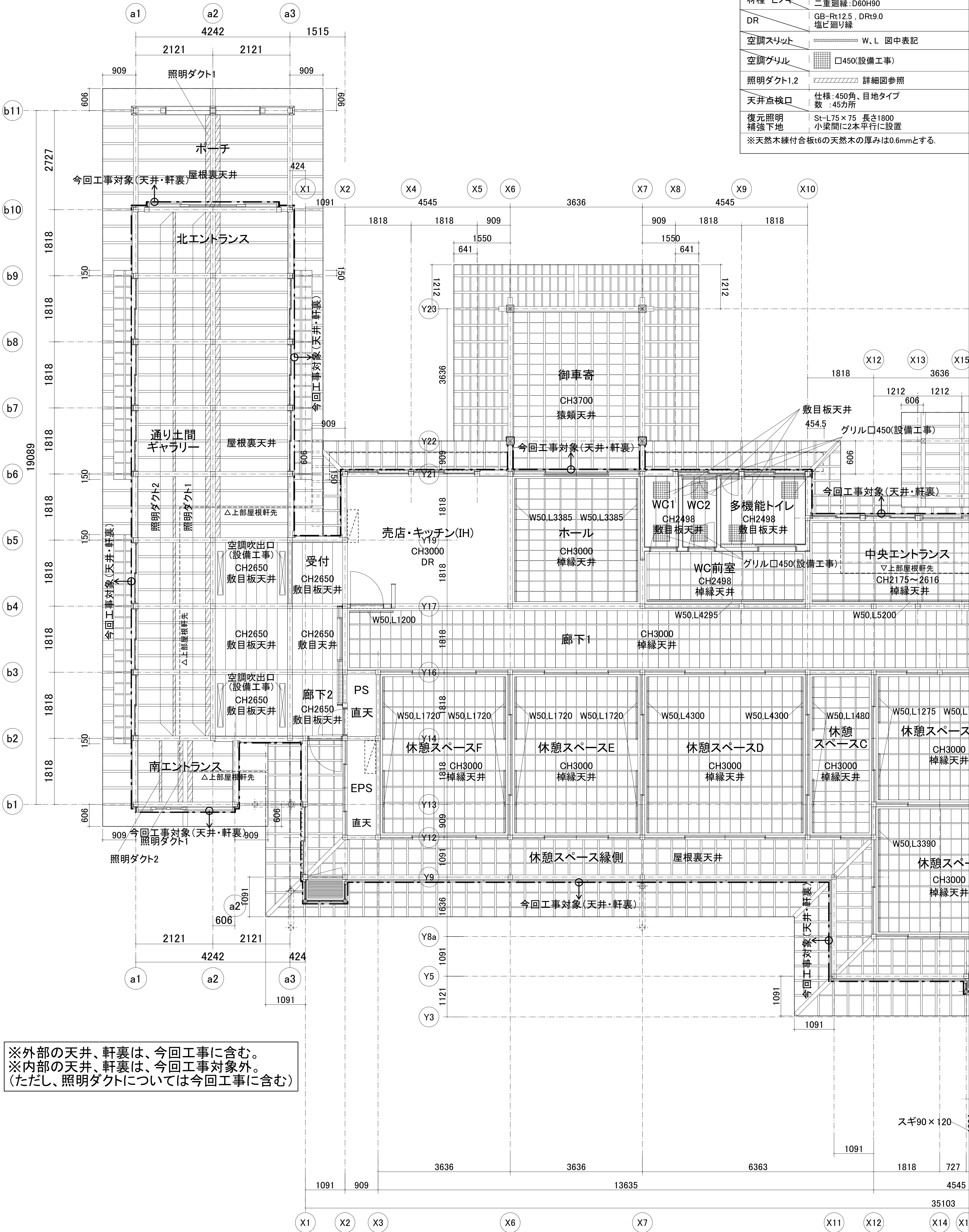
※断熱材については、屋根、外壁、床の木軸組に充填設置されるものについては、今回工事に含む。
※金物については、今回工事に含む。
※内部のユニット(手摺、防護策、サイン)については、今回工事対象外。
※内部塗装については、今回工事対象外。
※外部(屋根、外壁、床、ビット内)については、漆喰仕上げを除き、全て今回工事に含む。

香山建築研究所
KOYAMA ATELIER
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(1)
断面図(2) 断面4~8
環境省新宿御苑管理事務所

A-22
22
164

凡例	
平格天井 材種 ヒメキ	格縁: W80H80@600程度(縦横共) 鏡板: t9(市松張り) 600角(300×600-2枚幅はぎ) 天井廻縁: W60H120
猿頬天井 材種 スギ	猿頬: W60H80 樺子天井: スギ炬目t7 天井廻縁: D60H90
棹縁天井 材種 スギ	棹縁: W36H40 樺子天井: スギ炬目t7 天井廻縁: D60H90
屋根裏天井 材種 スギ	矩形図参照
敷目板天井 材種 スギ	敷目板: GB-Rt12.5 天然木練付合板t6 目透かしW3@300程度 目地底テブ貼り 天井廻縁: D60H45
一枚板鏡天井 材種 ヒメキ	天井板: t9 天井廻縁: D60H60 二重廻縁: D60H90
DR	GB-Rt12.5, DRt9.0 塩ビ廻り縁
空調スリット	////// W、L 図中表記
空調グリル	 □450(設備工事)
照明ダクト1.2	////// 詳細図参照
天井点検口	仕様: 450角、目地タイプ 数 : 45方所
復元照明 補強下地	St-L75×75 長さ1800 小梁間に2本平行に設置
※天然木練付合板t6の天然木の厚みは0.6mmとする。	

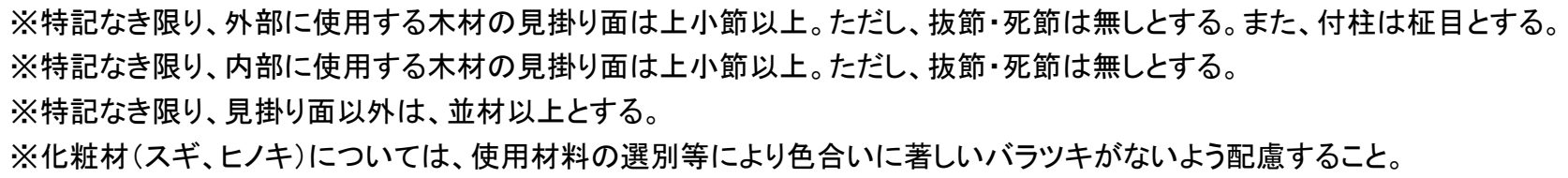


※外部の天井、軒裏は、今回工事に含む。
※内部の天井、軒裏は、今回工事対象外。
(ただし、照明ダクトについては今回工事に含む)

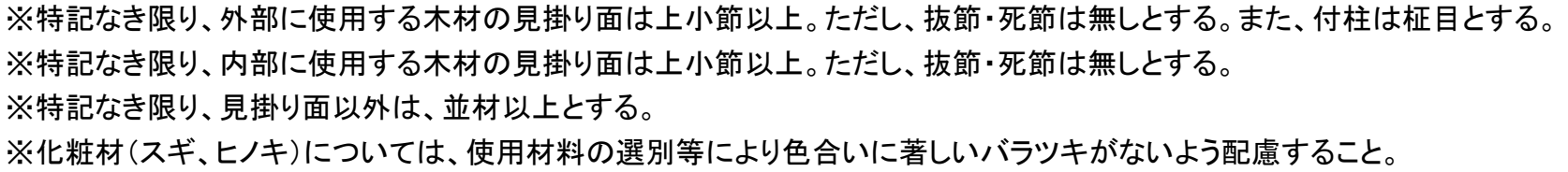
スギ⁹⁰×120

香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER
一般建築士事務所第12389号(有)香山建築研究所
〒東京都文京区本郷2-10-17本郷3-14号
管理技術者 長谷川祥人(一般建築士第5871号)
一般建築士事務所第12389号(有)香山建築研究所
〒東京都文京区本郷2-12-1017本郷3-15号
環境省新官御役所
環境省技術者 松本洋幸(一般建築士第3970号)

[illegible]

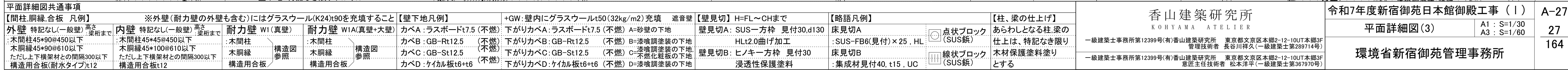


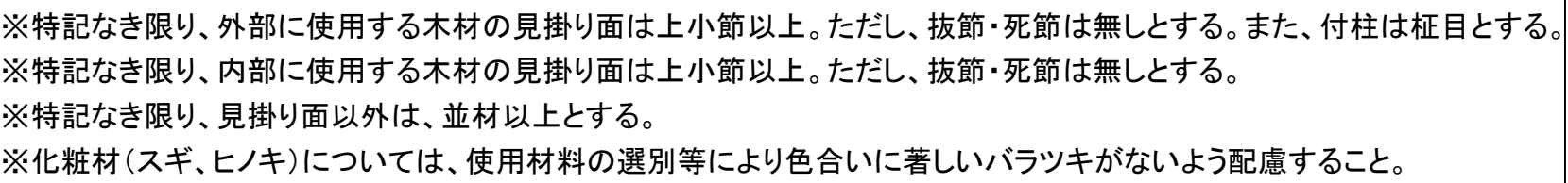
平面詳細図共通事項 【間柱、胴縁、合板 凡例】 ※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはガラスウール(K24)t90を充填すること 外壁 特記なし(一般壁) 高さ 窓まで : 木間柱45×90×450以下 木胴縁45×90×610以下 ただし上下構架材との間隔300以下 構造用合板(耐水タイル)t12										内壁 特記なし(一般壁) 高さ 窓まで : 木間柱45×45×450以下 木胴縁45×100×610以下 ただし上下構架材との間隔300以下 構造用合板t12										耐力壁 W1(真壁) : 木間柱 構造図参照 木胴縁 構造用合板										耐力壁 W1A(真壁+大壁) : 木間柱 構造図参照 木胴縁 構造用合板										【壁下地凡例】 カベA: ラスボードt7.5 (不燃) カベB: GB-Rt12.5 (不燃) カベC: GB-S12.5 (不燃) カベD: ケイカル板t6+t6 (不燃)										+GW: 壁内にグラスウールt50(32kg/m2)充填 遮音壁 下がりカベA: ラスボードt7.5 (不燃) A-砂壁の下地 下がりカベB: GB-Rt12.5 (不燃) B-漆喰調塗装の下地 下がりカベC: GB-S12.5 (不燃) C-不燃化粧板の下地 下がりカベD: ケイカル板t6+t6 (不燃) D-漆喰調塗装の下地										【壁見切】 H=FL~CHまで 壁見切A: SUS一方枠 見付30,d130 HLt2.0曲げ加工 壁見切B: Hニキヤ一方枠 見付30 湿気性保護塗料										【略語凡例】 床見切A : SUS-FB6(見付)×25, HL 床見切B : 集成材見付40, t15, UC										【柱、梁の仕上げ】 点状ブロック (SUS鉄) 線状ブロック (SUS鉄)										あらわしとなる柱、梁の仕上は、特記なき限り木材保護塗料塗りとする										香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第1239号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10U本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第1239号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10U本郷3F 監理主任技術者 松本幸平(一級建築士第367970号)										令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(Ⅰ) 平面詳細図(Ⅰ) A1: S=1/30 A3: S=1/60 25 164										環境省新宿御苑管理事務所										A-25									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--



香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER

【共通事項】
木構造関係 : 全て本工程に含む。(構造図に記載されるものは全て含む)
防水 : 全て本工程に含む。
タイル : 外部に設置されるものは、全て本工程に含む。
木工 : 本工程対象外。
木材 : 外部に設置されるものは、全て本工程に含む。
 内部に設置されるものは、
 木製柱、敷居、鴨居、戸袋、木製建具枠は本工程に含む。
左官 : 外部の漆喰塗り(白漆喰塗り)と内部は全て、別途工事。
建具 : アクリル製建具(塩化ガラス含む)と内部ドア開閉装置、は全て本工程に含む。
 その他の、別列工事。
塗装 : 外部に塗布されるものは、全て本工程に含む。
 内部に塗布されるものは、全て別途工事。
内外装 : 外部に設置されるものは、全て本工程に含む。
 内部に設置されるものうち、木軸部への断熱材は、本工程に含む。
ユニットおよびその他 外部に設置されるものは、全て本工程に含む。
 内部に設置されるものは、全て本工程対象外。





平面詳細図共通事項										香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER										令和7年度新宿御苑日本館御殿工事 (I)										A-28																																																																																											
【間柱・胴縁・合板 凡例】 ※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはガラスウール(K24)t90を充填すること										【壁下地凡例】 +GW: 壁内にガラスウールt50(32kg/m2)充填 遮音壁										【壁見切】 H=FL~CHまで										【略語凡例】										【柱・梁の仕上げ】										香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER										令和7年度新宿御苑日本館御殿工事 (I)										A-28																																																			
外壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁桁まで :木間柱45×90×450以下 :木胴縁45×90×610以下 ただし上と下構材との間隔300以下 構造用合板(耐水タイプ)t12										内壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁桁まで :木間柱45×90×450以下 :木胴縁45×100×610以下 ただし上と下構材との間隔300以下 構造用合板t12										耐力壁 WI (真壁) :木間柱 :木胴縁 構造用合板 参照										耐力壁 WIA (真壁+大壁) :木間柱 :木胴縁 構造用合板 参照										カベA: ラスポードt7.5 (不燃) カベB: GB-Rt12.5 (不燃) カベC: GB-S12.5 (不燃) カベD: ケイ化板t6+t6 (不燃)										下がりカベA: ラスポードt7.5 (不燃) A-砂壁の下地 下がりカベB: GB-Rt12.5 (不燃) B-漆喰調塗装の下地 下がりカベC: GB-S12.5 (不燃) C-不燃化粧板の下地 下がりカベD: ケイ化板t6+t6 (不燃) D-漆喰調塗装の下地										壁見切A: SUS-方枠 見付30,d130 HL2.0曲げ加工 壁見切B: Hニキー方枠 見付30 浸透性保護塗料										床見切A :SUS-FB6(見付)×25, HL 床見切B :集成材見付40,t15, UC										点状ブロック (SUS鉄) 線状ブロック (SUS鉄)										あらわしとなる柱・梁の仕上は、特記を限り木材保護塗料塗りとする										一級建築士事務所第1239号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久 (一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第1239号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 意匠主任技術者 松本洋平 (一級建築士第367970号)										A1: S=1/30 A3: S=1/60										28	
平面詳細図(4)										環境省新宿御苑管理事務所										164																																																																																																					

